

総合戦略の改定案について

基本目標	二次改訂版（H30.3.改訂）		一次改定版（H29.3策定）	改訂理由
	頁	内容	内容	
（１）子育て世代の希望をかなえるまちづくり戦略	8	重要業績評価指標 ・ 中学３年生までの医療費助成：100％（継続実施）	重要業績評価指標 ・ 中学３年生までの医療費助成：継続して実施している	KPIとして数値目標を設定したほうが進捗管理しやすいことから記載方法を変更
	8	１－２ 子ども・子育て支援の充実 ③保育園・児童館等の充実 就労等により保護者が家にいない子どもを保育園（未就学児対象）や児童クラブ（小学生対象）で預かり、共働きやひとり親家庭の子育ての負担を軽減します。また、緊急的又は一時的に保育が必要となる児童を保育する保育園での一時預かり事業を充実させ、保護者の就労支援や子育ての負担軽減し、子育て環境の整備を推進します。	１－２ 子ども・子育て支援の充実 ③保育園・児童館等の充実 就労等により保護者が家にいない子どもを保育園（未就学児対象）や児童クラブ（小学生対象）で預かり、共働きやひとり親家庭の子育ての負担を軽減します。	緊急的又は一時的に保育が必要となる児童を保育する一時預かり事業は、リフレッシュなどの理由により、子育て中の保護者の利用が増えており、子育て支援策として重要な事業であるため追記する。 平成28年5月に一時預かり4園増やし、7園で実施している。
	9	【新規追加】 重要業績評価指標（KPI） ・ 放課後児童クラブ待機児童数（毎年）：0人	—	近年急速に児童クラブの利用申込みが増加し、待機児童が多く発生している状況を改善するため受入体制の整備を戦略的に行ない、安心して子育てできる環境を整備していくため新たにKPIとして設定する
	9	重要業績評価指標 ・ 保育園待機児童数（毎年）：0人（待機児童ゼロを維持）《0人》	重要業績評価指標 ・ 保育園待機児童（毎年）：待機児童ゼロを維持している	KPIとして数値目標を設定したほうが進捗管理しやすいことから記載方法を変更
	10	重要業績評価指標 ・ ラグナシアプール助成利用者数（毎年）：5,000人《3,646人》	重要業績評価指標 ・ ラグナシアプール助成利用者数（毎年）：4,000人《3,646人》	平成29年度の利用実績は4,581人（利用率36.3％）と認知度が向上し、気温の影響等もある中、毎年約3％利用率が増加している。平成27年度から平成29年度の平均の伸び率2％を平成31年度まで継続していくと想定し、新たな目標として利用対象者約12,500人の40％である5,000人を年間利用者数と上方修正する。
	11	重要業績評価指標 ・ 小中学校全学年35人学級：100％（継続実施）	重要業績評価指標 ・ 小中学校全学年35人学級：継続して実施している	KPIとして数値目標を設定したほうが進捗管理しやすいことから記載方法を変更

基本目標	二次改訂版（H30.3.改訂）		一次改定版（H29.3策定）	改訂理由
	頁	内容	内容	
（２） 活力あるまち、 くもり戦略 しごとづ	14	重要業績評価指標（KPI） ・創業件数（年間）：15件《－》	重要業績評価指標（KPI） ・創業件数（年間）：10件《－》	がまごおり創業支援ネットワークが機能し、創業を目指す方の掘り起こしと継続的な支援が可能になった。目標値は創業実現までの期間にばらつきがあるため、平成28年度基準値（15件）を平均値として維持することを目標とする
	14	重要業績評価指標（KPI） ・販路拡大事業者数（年間）：20社（人）《－》	重要業績評価指標（KPI） ・販路拡大事業者数（年間）：10社（人）《－》	蒲郡市販路拡大事業費補助金事業の継続実施が見込まれ、採択事業者数を20社（人）と想定しているためKPIを20社と上方修正する。 また、継続的な総合支援により次年度以降に販路拡大を実現する者もあることから事後調査を実施する
（３） 新しい人の流れ戦略	21	重要業績評価指標 ・地元大学のインターンシップ受入企業数：10社《2社》	重要業績評価指標（KPI） ・地元大学のインターンシップ受入企業数：5社《2社》	平成27年・平成28年とも目標を達成し、平成29年度においても8社に受け入れていただいております。インターンに積極的に取り組んでいるところである。インターンシップを推進し、学生と地元企業との関わりを深めるため目標を上方修正する
	24	<u>【新規追加】</u> ④三河港（蒲郡地区）の利用促進 三河港（蒲郡地区）を物流港として利用を促進するとともに、豊富な地域資源や地理的優位性を活かし、港を新たな観光の拠点として活用していくため国内外のクルーズ客船の誘致に積極的に取り組みます。 重要業績評価指標（KPI） ・クルーズ船寄港回数（5年間）：5回 <具体的な事業> ・クルーズ船誘致受入事業 ・輸出入貨物助成事業	—	平成28年度に加速化交付金を活用し、みなとオアシスの整備やみなとオアシスでのイベント、クルーズ客船の誘致を実施し大きな成果を得ることができた。 特にクルーズ船は一度に多くの人々が訪れ、消費喚起効果が期待できる。今後も「港」を地域活性化の核として位置づけていくため新規で追加するもの
た（４） 地域づくりにあつ	28	重要業績評価指標（KPI） ・支線バス利用者数（年間）：4,200人《－》	重要業績評価指標（KPI） ・支線バス利用者数（年間）：3,560人《－》	「蒲郡市地域公共交通網形成計画」に基づき、「平成30年度蒲郡市地域生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）」において目標数値を上方修正したため計画とあわせるもの